

# 2050年

## 人口7がけ社会がやってくる!?

2050年の長野県は…

- 人口は2001年のピーク時から**約3割減少** (159万人)
- ただちに出生率が回復してもしばらく**人口減少は続く**
- 高齢化率は**4割超** など

現在は、**少子化の加速**に加え、**若者、特に女性の転出超過**が深刻

長野県が  
100人の村とすると

**2001年**

総人口は  
72人の村となり

**2050年**

65歳以上	☹️	22人 (22%)	➡️	30人 (42%)
15～64歳	😊	63人 (63%)	➡️	35人 (49%)
0～14歳	😊	15人 (15%)	➡️	7人 (9%)

人口減少で  
**困ること**

担い手不足

医療・福祉・交通  
・物流サービス低下

地域のコミュニティ  
弱体化

インフラや行政サービスの  
維持

消費の減退  
産業の競争力低下

社会保障  
税負担が増加

空き家や空き地の増加  
娯楽施設の撤退

ひとり一人にあった  
学びの実現

誰もが社会で  
活躍できるチャンス

人口減少下の  
**希望の種**

新たな  
ビジネスチャンス

行財政改革や  
まちの再生

AI・ロボット技術等  
の飛躍的な発展

## 約150回の意見交換を実施

県民をはじめ長野県に縁がある方々と、  
人口減少の現状を共有し、2050年のありたい姿を  
考えました。(約150回、3,000人が参加)

- HOPE2050若者との県民対話  
ー共に創ろう信州の未来をー

知事と若者との県民対話を県内4か所で開催。  
若者の視点で2050年のありたい姿を考えました。

「ありたい姿」

を実現するには  
現状を続けていくだけ  
ではダメ!

Re-think

“当たり前”を問い直す  
考え方のパラダイムシフト  
が必要

再配達って  
当たり前?

地域の  
お茶くみは  
女性のしごと?

LET'S!

## 寛容な社会づくり

### ① 若者・女性から選ばれる寛容な社会づくり

**若者** ▶ 若者の可処分所得が**県民平均以上に向上**

**性別** ▶ 家事・育児時間の男女格差 **2.0倍未満**

**子育て** ▶ 男性の育児休業取得率 **85%以上**

**子ども** ▶ 全天候型の子どもの遊び場が増える

**多様性** ▶ 無償で日本語や日本文化を学ぶ場がある

**学び** ▶ 最先端のSTEAM教育※・英語教育

※STEM(科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、数学(Mathematics))を統合的に学習する教育に、芸術(Arts)の創造性教育を統合する教育手法

LET'S!

## 信州暮らし

### ② 信州の強みを活かした移住・関係人口の増加 ～暮らし、つながる仲間を増やそう～

▶ 年間移住者数 **10,000人以上**

▶ 移住希望地ランキングで**1位を獲得**

2050

ありたい姿

みんなて達成しよう!

2030

の旗

今の子どもたちが大人になる  
2050年に向け、

2030年までに達成したい

当面の目標

(主なもの)

LET'S!

## まち・むらづくり

### ③ 安心・便利で持続可能な生活圏の整備促進 ～県土のグランドデザインを策定・実現しよう～

▶ 安心・便利で持続可能な**県土のグランドデザイン**をつくる

▶ コンパクト・プラス・ネットワーク&レジリエンス※  
によるまち・むらづくりについて議論し、具体的な事業に着手

※住居や商業施設、公共施設等が適切に配置され、  
そこに交通ネットワークならびに情報ネットワークで利便性高く  
アクセスでき、防災力にも優れた圏域を形成すること

LET'S!

## 経営等の革新

### ④ 変革期を乗り越える経営等の革新

**労働生産性・グローバル**

▶ 多くの事業所が**DX**や**リスキリング**を積極的に推進

▶ 訪日外国人旅行者の観光消費額 **1,000億円**

**人材・省力化**

▶ 女性の就業率を**70%以上**とし、高齢者の就業率**全国1位**を維持

▶ 法定雇用率適用事業所で雇用される障がい者数 **9,000人以上**

**共創**

▶ 圏域ごとに行政体制のあり方について議論され、  
それを踏まえた取組が行われている

# 信州未来共創戦略

～みんなで作る2050年のNAGANO～

を進めるための

# けんみん かいぎ 県民会議

参加者募集!!

# がスタート!

長野県から  
日本を変えよう!

## 学ぶ

人口減少の事実と課題

例えば…

- 有識者の話をきいてみよう
- 働き方改革の現場を覗いてみよう



## Re-think

問い直す

例えば…

- どんな当たり前があって、どう変えたらいいか、ワークショップで考えてみよう

## アクション 行動する

例えば…

- 自分ができていることを発表して実行しよう
- プロジェクトを作ってみんなで動かそう

## 広げる

なかまづくり

例えば…

- 身近な人に取組を伝えよう
- 一緒に取り組む仲間を探そう (コラボしよう)



## シンカ

進化・深化

例えば…

- 取組事例をみんなで共有して、自らの取組をシンカしよう



上の活動は一例です。県民会議で考えよう!

※県民会議の名称: 「私のアクション! 未来のNAGANO創造県民会議」

Q どんな人が入れるの?

若者、子育て世代、高齢者、障がい者、企業、団体など、どなたでも参加可能です!

Q 参加費はかかるの?

参加費はかかりません!

Q 遠方だけど参加できるかなあ

大丈夫です!  
オンラインでも参加可能です。

Q 子連れでも参加できる?

お子さん同伴でも参加できます!

Q こんな取組あったらいいな!

実現に向けて一緒に考えましょう!

Q メリットは?

スキルアップにつながるほか、一緒に取り組む仲間ができます。

Q 参加したい!

こちらの二次元バーコードから  
申し込んでください。  
(常時募集中)

